

筑豊小児科医会会報

Vol.208 2024.5



Contents

- ◇ 小児センタースタッフ（医師）のご紹介
- ◇ 新任医師のご紹介
- ◇ 研修医のご紹介
- ◇ 飯塚病院 月間診療のまとめ《2024年3月》
- ◇ 小児科関連勉強会のご案内
- ◇ AI-CAP 通信
- ◇ Pediatrics note（小児科 診療部長 大矢崇志）

発行：飯塚病院小児センター（飯塚市芳雄町 3-83）
（代表）TEL：0948-22-3800

小児センタースタッフ（医師）のご紹介 2024年5月1日現在

新年度となり、新しいスタッフが加わりましたので改めてご紹介いたします。

小児科

 <p>おかまつ ゆき 岡松 由記</p> <p>小児科 部長</p> <p>出身 福岡大学 (2000 年卒) 専門 アレルギー 資格・日本小児科学会小児科専門医 ・日本アレルギー学会 アレルギー専門医 ・日本小児科学会小児科指導医</p>	 <p>かんだ ひろし 神田 洋</p> <p>小児科 診療部長・総合周産期母子医療センター新生児部門・管理部長 出身 久留米大学 (1996 年卒) 専門 新生児 資格・日本小児科学会小児科専門医 ・日本小児科学会小児科指導医 ・九州新生児研究会評議員 ・新生児蘇生法「専門」コース インストラクター</p>
 <p>おおやたかし 大矢 崇志</p> <p>小児科 診療部長</p> <p>出身 大分医科大学 (1998 年卒) 専門 小児神経 資格・日本小児科学会小児科専門医 ・日本小児科学会小児科指導医</p>	 <p>さかくち まりえ 坂口 万里江</p> <p>小児科 特任診療部長</p> <p>出身 山口大学 (1990 年卒) 専門 アレルギー 資格・日本小児科学会小児科専門医</p>
 <p>たなか しゅういちろう 田中 祥一郎</p> <p>小児科 診療部長</p> <p>出身 久留米大学 (2004 年卒) 専門 新生児、アレルギー、 子ども虐待、吃音 資格・日本小児科学会小児科専門医 ・日本周産期 新生児医学会 周産期 (新生児) 専門医 ・日本アレルギー学会 アレルギー専門医 ・日本小児科学会小児科指導医 ・新生児蘇生法「専門」コース インストラクター ・公認心理師 ・出生前コンサルト小児科医</p>	 <p>たなか ゆかり 田中 ゆかり</p> <p>小児科 医師</p> <p>出身 久留米大学 (2009 年卒) 専門 内分泌、発達・発育、育児相談 資格・日本小児科学会小児科専門医 ・出生前コンサルト小児科医</p>
 <p>さいま れお 齊木 玲央</p> <p>小児科 診療部長</p> <p>出身 千葉大学 (2009 年卒) 専門 小児一般 資格・日本小児科学会小児科専門医</p>	 <p>あらかき じゅんいちろう 荒木 潤一郎</p> <p>小児科 医長</p> <p>出身 佐賀大学 (2010 年卒) 専門 腎臓、泌尿器、膠原病、夜尿症、 昼間尿失禁、尿路結石 資格・日本小児科学会小児科専門医 ・厚生労働省臨床研修指導医</p>
 <p>かむら たくろ 嘉村 拓朗</p> <p>小児科 医長</p> <p>出身 徳島大学 (2014 年卒) 専門 小児一般 資格 日本小児科学会小児科専門医</p>	 <p>まつゆき けいご 松行 圭吾</p> <p>小児科 医長代理</p> <p>出身 久留米大学 (2017 年卒) 専門 小児一般</p>

 <p><small>ほんま かずき</small> 本間 一樹</p> <hr/> <p>小児科 医長代理 出身 久留米大学 (2019 年卒) 専門 小児一般</p>	<p><small>よしだ こういち</small> 吉田 浩一</p> <hr/> <p>小児科 専攻医 出身 川崎医科大学 (2015 年卒) 専門 循環器 資格・日本内科学会認定内科医 ・日本心血管インターベンション治療学会認定医 ・日本循環器学会循環器専門医</p>
 <p><small>ささき まこと</small> 笹栗 誠</p> <hr/> <p>小児科 専攻医 出身 久留米大学 (2020 年卒) 専門 小児一般</p>	

小児外科

 <p><small>たつたきょうすけ</small> 竜田 恭介</p> <hr/> <p>小児外科 部長 出身 長崎大学 (2001 年卒) 専門 小児外科全般 資格・日本小児外科学会認定小児外科専門医 ・日本外科学会認定外科専門医 ・日本小児外科学会指導医 ・日本外科学会指導医</p>

新任医師のご紹介 (4 月 1 日付)

● 田川市立病院 小児科 医長 かわはらたかひろ 河原 隆浩

2024 年 4 月より田川市立病院小児科で勤務することになりました、河原隆浩と申します。

田川地区の周産期・小児医療に貢献できるように努力したいと思います。筑豊小児科医会の開業医の先生方、勤務医の先生方のお力をお借りすることもあると思いますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

● 田川市立病院 小児科 医長 たけもとりゅういち 竹本 竜一

2024 年 4 月より、田川市立病院小児科で勤務させて頂くこととなりました、竹本竜一と申します。

小児科 13 年目で小児感染症を専門としています。昨年度までは九州大学病院小児救命救急センターで、重症患者の診療に携わっていました。筑豊地区の子どもたちとご家族が笑顔で過ごせるよう、尽力して参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

● 飯塚病院 小児科 医長代理 ほんま かずき 本間 一樹

4 月より飯塚病院小児科にてお世話になる事になりました、本間一樹と申します。

北九州市立八幡病院で後期研修医・小児科医として 3 年間の経験を積みました。地域の子どもの健康と幸福に貢献したいと考えています。笑顔で元気いっぱい、丁寧な診療と親身な対応を心がけ、患者さんとご家族に信頼と安心を届けられるように頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。



● 飯塚病院 小児科 専攻医 ^{よしだこういち} 吉田 浩一

4月から飯塚病院小児科で勤務させて頂くこととなりました、吉田浩一と申します。

今までは循環器内科医として勤務しておりましたが、小児科へ転科し心機一転頑張っ
て参ります。精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。



研修医のご紹介

● 総合診療科 専攻医 1年目 ^{こみやままよ} 小宮山 真代

飯塚・穎田病院総合診療プログラム所属の小宮山真代と申します。

4月より3か月間、小児科研修をさせて頂きます。子供から大人まで診る総合診療医として、小児診療全般
をこの期間にしっかり学んでいきたいと思っております。これまで、小児の対応を行う機会があまりなく、
至らぬ点も多々あるかとは思いますが、精一杯励んでまいります。どうぞよろしくお願い致します。

飯塚病院 月間診療のまとめ 《2024年3月》

●入院患者数 133人 ●外来患者数 1,165人 ●救命救急センター受診者数 188人

●新生児センター入院患者数 17人 ●分娩件数 27件 ●手術件数 15件

●主要疾患数（退院患者数：115人）

低出生体重児	17	肺炎・気管支炎	16	痙攣及びてんかん	11
新生児呼吸障害・心血管障害	5	喘息	3	髄膜炎	2
急性胃腸炎	1	急性上気道感染症	1	高ビリルビン血症及び黄疸	1
その他	58				

●3月紹介件数（五十音順）

小児科：142件			小児外科：19件			
①	こどもクリニックもりた	6	①	栗原小児科内科クリニック	3	
	社会保険田川病院			②	有松病院	2
	松尾ファミリークリニック				ささきこどもクリニック	
	雪竹医院				雪竹医院	
②	荒木小児科医院（田川）	5	③	加来医院	1	
	いづかこども診療所			嘉麻市役所 子育て支援課 母子保健係		
	飯塚市立病院			こどもクリニックもりた		
	ささきこどもクリニック			田川市保健センター		
	津川診療所			田中クリニック		
	まつなり医院			たなかのぶお小児科		
③	後野医院	4		長末医院		
	栗原小児科内科クリニック			泌尿器科 C.U.クリニック		
	平野医院			福智町役場 健康子育て支援課 健康係 他1件		

小児科関連勉強会のご案内

■ 第50回 筑豊周産期懇話会（第357回 筑豊小児科医会勉強会同時開催）

●日 時：2024年5月15日（水）19:00～

●会 場：飯塚病院 エネルギー棟6階 大会議室

☆総 会 19:00～19:15

☆講演会 19:15～20:00

【レクチャー】

『サイトメガロウイルス感染症』

飯塚病院 産婦人科 八木光生

飯塚病院 小児科 齊木玲央

【演題】

『A病院におけるコロナ禍による面会制限とエジンバラ産後うつ質問票（EPDS）得点との関連』

飯塚病院 総合周産期母子医療センター 産科部門 助産師 中嶋かおる

『当院における胎児心エコー診断導入後の報告』

飯塚病院 総合周産期母子医療センター 産科 李 理華

*参加費：医師1,000円 / 医師以外500円

*詳細につきましては案内状をご確認ください。



AI-CAP 通信

就任のご挨拶

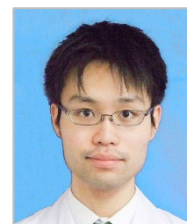
平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

本年4月よりAI-CAP委員長に就任させていただくこととなりました。時を同じくして、今年度から小児科初期診療の機能分担を、飯塚市立病院さまにご協力いただいております。分担後の患者さまの受療の状況の変化に対応できるように医療連携・行政との連携を深めて参りたいと考えております。

前委員長の田中祥一郎先生は小児科顧問に就任なさいます。今後もアドバイス頂きながら、田中先生のなさっていた活動を継続しつつ、新たな状況にも対応してまいりたいと考えています。

若輩者でご迷惑をおかけすることも多々あると存じますが、よろしくお願いいたします。

小児虐待防止委員会 委員長 齊木 玲央



<AI-CAP事務局へのお問い合わせ> TEL：0948-88-8220（直通）FAX：0948-88-2806

Pediatrics note (小児科 診療部長 大矢崇志)

先月号で『親御さんの信頼を得るためにできることはまだあります。次号からその鍵となる戦術トラウマインフォームドケア（TIC）についてお話しします』と書きました。ある講演会で TIC を知り実践したところ、思いのほか僕の診療に役立ったので皆さんに伝えたいと思ったからですが、やっぱり辞めます。ここで書いても仕方がないと思うんです。どうせ読んでもらえないし、書く気が起きないというか。これは冗談じゃないですよ。僕なんかそもそもコラムよりハラミの方が好きだし。ね、面白くない。

何故かいじけている僕ですが、皆さんどう思いましたか？ 嘘つきだとか、めんどくさがり屋の意気地なしだとか思いましたか？ そう思われても仕方ありませんが、実は先月号の後、僕宛に TIC について書くのはやめる、さもなくば・・・というハガキが届き、それが僕の心を傷つけ、深く引っかかり、そのせいでこんなことを書いてしまったのです。

TIC は今回の僕のように、問題になる行動をしてしまった人の背景にトラウマがあるかもしれないと想定し、その人がさらに傷つくのを避け、良い関係を保つためのケアです。今の僕に「嘘つき！」と罵るのではなく、落ち着いた部屋で優しく「何が起きたの？」と問いかけてくれるケアなのです。そのためにトラウマとは何か、どのような影響を及ぼすのか、トラウマを負った人はどんな行動をするのかを知る必要があります。

今回、僕はコラムを書かない『回避行動』を起こし、どうせ僕なんかと『気分が陰性に変化』してしまいましたが、いずれもトラウマを負った人の行動でした。あなたが人に負の感情をぶつけるのは簡単ですが、それは相手を傷つけると同時にあなたの心も傷つけます。そうしてささくれたあなたの行動は周囲の人を嫌な気持ちにし、トラウマが伝染していきます。この伝染を止めることも TIC の大切な目的です。これまでも折に触れて書いてきましたが、今年は順を追ってお伝えしたいと思います。時々休憩しながらですけどね。

※ハガキのくだりはフィクションです。

最新の情報は飯塚病院ホームページよりご覧ください。

また、小児科・小児外科の詳しいご紹介や診療実績は「診療科のご紹介」をご覧ください。

外来担当表



小児科のご紹介



小児外科のご紹介

